

教育相談のご案内

富士見市教育相談室



〒354-0002 富士見市上南畑 1317 (富士見特別支援学校 3F)

(でんわ) **253-5313** (ファックス) **253-5101**

URL <http://www.city.fujimi.saitama.jp/35miru/01kyouiku/kyouikuken/index.html>

お子さんの教育上の心配ごとは、
どんなことでもお気軽にご相談ください。
早めの相談が解決への近道になります。

* 主な相談内容 *

◇一般教育相談

- ・いじめられている
- ・最近、元気がなくなった
- ・学校に行きたがらない
- ・友だちとのトラブルがある
- ・乱暴や非行が目立つ
- ・落ち着きがない
- ・気になる行動や癖がある
- ・男女交際で悩んでいる
- …など

◇就学相談

- ・入学等に関して不安がある
- ・子どもの発達の遅れや偏りが気になる…など

◇心理治療相談

- ・心がとても不安定で、落ち込みが激しい
 - ・精神科に行かせたいが、一歩踏み出せない…など
- ※臨床心理士が相談にあたります。

◇特別支援教育相談

- ・特別支援教育に関する詳しい情報を知りたい
 - ・病院等で、発達障がいと診断されたが、対応方法が分からない…など
- ※特別支援教育士または臨床心理士が相談にあたります。

◇言語相談・言語訓練(小学生・中学生)

- ・発音や聴こえ、ことばの遅れを改善したい…など
- ※専門の耳鼻科医が相談にあたります。
必要に応じて言語聴覚士による言語訓練及び諸検査が受けられます。また、要望により、治療の機関を紹介します。

相談にあたって

- * 当室に直接お電話ください。相談は無料です。匿名でもかまいません。
- * 相談の内容は、他には漏らしません。秘密は守られますので、ご安心ください。

相談方法

- ◆電話 受付時間内にお電話ください。その場で相談に応じます。FAX 相談も受け付けます。
- ◆面接 希望により面接相談を行います。あらかじめ電話で日時を予約してから、お越しください。
- ◆出張・訪問 事情により当室での相談が困難な方には、お近くの公民館やコミュニティーセンターでの相談を行います。

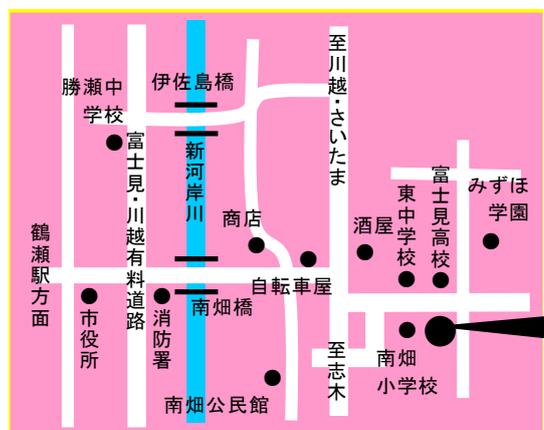
申し込み

- ◆相談日時 月曜日～金曜日(※祝祭日はお休み)
午前9時00分～午後5時00分まで
土曜日(※電話相談のみ・祝祭日はお休み)
午前9時00分～ひる12時00分まで
- ◆相談場所 教育相談室で行います。その他の場所を希望の方はお申出ください。
- ◆対象 富士見市に住んでいる方で、幼児・小学生
中学生・高校生(中退者も含む)本人及び保護者の方
- ◆相談担当 当室の専任教育相談員をはじめ、必要に応じて臨床心理士、特別支援教育士、耳鼻科医、言語聴覚士があたります。

適応指導教室<あすなる>

学校へ行きたいけれど行けない子どもたちに、
教育相談を中心に自立への支援・援助を行い、
学校への復帰が図れるようにする教室です。

- ◆対象 富士見市立小・中学校に在籍していて、
長期間欠席が続いている児童・生徒
- ◆開設日時 午前9時00分～午後2時30分まで
- ◆活動内容 ○スポーツや体験活動
(田植え、宿泊、遠足、餅つきなど)
○個別カウンセリング
(本人、保護者など)
○児童・生徒に合った学習支援



- *バス
・志木駅北口東武バス21番
「富士見高校行」富士見高校下車
・鶴瀬駅東口富士見市内循環バス
「山室会館・富士見高校線」か「老人センター線」
富士見高校下車
- *タクシー…鶴瀬駅東口より、約10分

富士見市教育相談室
(特別支援学校3階)

相談室 HP の教育相談 Q&A をご利用ください

本教育相談室 HP の教育相談 Q&A には、子育てにかかわる様々な質問とそれに対する答えが数多く載っています。是非ご利用いただきたいと思ひます。子育ての悩みにお役に立つことと思ひます。

HP アドレスは以下のとおりです。

<http://www.city.fujimi.saitama.jp/gakushuu73/kyoso86.html>

もしくは、富士見市の HP からでもご覧になれます。

富士見市トップページにある、『観る、楽しむ、学ぶ』をクリックし、さらに教育相談室をクリックしてください。

<コンテンツ>

- ・ 相談内容
- ・ 相談方法
- ・ 相談の申し込みについて
- ・ 適応指導教室「あすなる」
- ・ Q&A

教育相談 Q&A コーナーには、小・中学生の事例が形成されています。() は事例数。広報ふじみに掲載されたものです。

- 家庭関係 (15)
- 家庭教育 (31)
- 家庭学習 (8)
- 学校 (9)
- 教科 (7)
- 友人関係 (5)
- 心身 (10)
- 性格 (4)
- 能力・適性 (2)
- 行動 (13)
- 就学相談 (1)
- 相談室 (4)

登校しぶり	中 1 男子	掲載日 平成 23 年 9 月
Q: 中 1 男子ですが、6 月頃から登校を渋っています。担任の先生から「あすなる教室」を紹介されました。どんなところか教えてください。		
A: 適応指導教室「あすなる」は、教育相談室にあり、平成 12 年の開設以来、多くの児童生徒に利用されています。この教室は学校と家庭の中間的な役割を果たしながら、不登校児童生徒の自立を促すとともに、集団への適応能力を養い、学校復帰に向け幅広い支援をしています。2 人の指導員を中心に、室長を含む 8 人のスタッフやインターンシップの大学生も必要に応じて協力しています。22 年度は 25 名が通室し、8 割が学校に復帰しています。担任や管理職の先生も時折顔を見せ、通室する子どもたちと触れ合っています。2 学期には、稲刈りや柿もぎ、サツマイモの収穫、遠足、宿泊体験など、楽しい行事をたくさん計画しています。まずは、お電話ください。来室日を決め、見学に来てください。保護者の方の面接も定期的にできますので、是非ご利用ください。		

友達とすぐにけんかする子	小 1 男子	掲載日 平成 17 年 12 月
Q: 小 1 男子ですが友達と遊んでいてもすぐけんかし長い時間一緒に遊ぶことができません。このままでは、友達ができず、社会性のない子になるのではないかと心配です。		
A: 一般にけんかをする場合、自分の要求が通らないとか、攻撃された時で、いずれも自分という存在に関係しています。つまり相手との調和をとる精神的な働きがうまくいかないからなのです。ささいなことで機嫌を悪くしけんかをするということですから、まだ友達に対して自分の要求を抑えるということが分かっていないのか、分かっているけど許せないという自己主張が強すぎたり、人との交流の喜びを知らないのかもしれない。		
家庭においては、夫婦間や親子間で、さまざまな状況をわかまへ互いを受け入れあう姿を見せ、よりよい人間関係のモデルを示すと同時に、その喜びや楽しさを味わわせることが大事です。		
問答無用な叱責や一方的な対応は、本人の人間関係の発達を遅らせるだけでなく、友達に対しても、同様なかわり方を教えることにもなりかねないので注意したいものです。		

